

様式第2号（政務活動実施報告書）

平成29年 11月 2日

井原市議会議長
西田 久志 様

井原市議会議員
柳原 英子

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	平成29年10月19日（木）～10月20日（金）
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	佐賀県 佐賀市文化会館大ホール 外
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	全国過疎問題シンポジウム in さが
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	講師 山崎 亮 外 パネリスト 千綿 由美 渡辺 法子 横尾 俊彦
5. 活動内容	別紙のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

過疎地域シンポジウム 10月19日 全体会

基調講演 山崎 亮 studio-L 代表

地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる山崎さんの実践の話。

まちづくりのワークショップや住民参加型の総合計画作り、市民参加型のパークマネジメントなど多くのプロジェクトに関わっている。

縮充とは少数精鋭化するというので、これからは人口減少時代、高齢化時代は避けられない。地域に住む住人と話し合い、考えている人たちをコアな（実際に活動する）メンバーにし、また応援できる人材を育てる。チラシの作り方などを伝え、山崎さんたちがいなくなってもまちづくりができるように地元の人を育てていく。

キーワードは わかりやすく つながり カッコよく 居心地よく

いままで400ぐらいのグループを作る。

しまなみガイド 瀬戸田 三原 忠海をつなぐプロジェクト

おかんアート美術館

街歩きにトイレが必要 トイレを貸してくれるお宅に手づくりの作品がいっぱいある。

それをおかん美術館として一週間開く。1日10人以上が訪れる。

95%の女性が、満足と評価。おとんの美術館もできることになる。

のろしを上げたいおっちゃんがいる。

弓削山で実験を繰り返す。応援のろしがあがる。当日57箇所から煙が上がる。狼煙の

匠ができる。

市民参加型で共同しあって私達のまちは、私達で決めていく。

パネルディスカッション

人が輝く地域づくり ～自発と誇りが地域を変える～

千綿 由美氏 武雄市若木町 樹齢 3000 年の楠がある。この楠の近くに家を建て、移住して I ターン U ターンの仲間「むらつむぎ」で地域の意欲ある人たちと田舎でのイベントを作り出す。

横尾 俊彦 多久市長

小中学校の統合、論語かるた、スカイプで市長にて提案、ICT 教育、アートの湧き上がる町、シャッターアート。早稲田大学との創生を試みる。
佐賀の妬み、やっかみ、足引っ張りを気にせず、仲間を作ってやっていく。

渡辺 法子 アイ・エス・ケー合同会社

NPO 法人全国まちづくりサポートセンター理事、静岡県伊豆稲取温泉協会事務局長。
地域を主体とした観光地まちづくりを担う着地型旅行会社「稲取温泉観光合同会社」を設立。

自分たちの地域のいいところを書き出し、資源を書き出し、屏風にする。これでいいんだというのではなく、これがいいんだと伝える気持ち。

意見をどんどんいう人は、関心がある人。関心がある人には声をかける。

仲間をどうやって増やすか。集うときに楽しい仕掛けをつくる。そこへいくとハッピーになれる。楽しみながら次の展開へ。仕掛ける側の人が必要。出入りは自由におまかせしながら、ビジョンははっきり。正しいよりも楽しいからやろうか。

人との関係性を分かった人が、やるべきことが分かる人になる。

○所感

地域のいいところを認め、自信を持って仲間と協働しまちづくりを進めていく。みずからやりたいこと、したいことを中心に自由に垣根を取っ払っていく。人はやりたいという人についていく。感性で行動することが大事と思う。しっかりとまちづくりを応援していきたい。

10月20日 分科会 白石町

地域を支える交通手段 コミュニティータクシーいこカー

大事なことだがタクシー会社の売上が落ちる。地域 NPO 法人で送り迎えをしている。しかし、運転手も高齢化してきている。

免許返納してやっていく。返納した後にやって行けるかどうかのお試しをしてもいい

のではと提案があった。

○所感

高齢化になれば交通手段もままならなくなる。免許返納後の交通手段も重要なこと。

やっぱり支え合うことが一番ではないかと考える。